

3 学習上の留意点

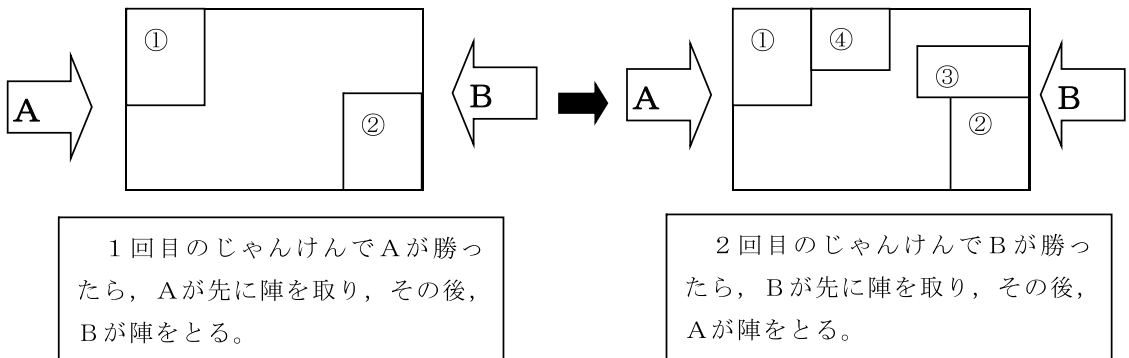
- ・新聞の記事によっては、記事と記事の間に線がなかったり、間が空いていなかったりと囲みにくい物もあるので、囲みやすい記事を選んでおくようにする。
※囲みにくい物・・・経済（株など）、テレビ覧、広告のみなど
※囲みやすい物・・・スポーツ、総合など
- ・陣を比べる際、大きさが合わないときには、はさみで細かく切ったり、セロハンテープで貼ったりし、比べられるようにする。

4 学習の効果

ゲームという言葉を知りただけで、子供たちはとても喜び、楽しみながら、学習することができる。しかし、2人組だと、見た目で陣の大きさが分かってしまうため、勝敗が目で見分かってしまう。初めは2人組、終わったら、3人、4人と対戦人数を増やしていくと、陣の大きさも見た目で見分けることができず、どの部分を切って貼ると比べることができるのか、自分たちなりに考えるようになる。また、新聞のレイアウトについては、国語の時間に学習しているため、記事によって、様々なレイアウトがあるということを復習することができる。レイアウトについては、分からない場合、友達と相談しながら進めることができ、お互いに教え合いながら学習に取り組むことができる。

今回は、じゃんけんで勝った児童だけが陣を取ることができるようにしたが、じゃんけんだとなかなか勝つことができず、陣をたくさん取れない児童が見られた。そこで、じゃんけんをし、勝った人だけが陣を取ることができるのではなく、じゃんけんで陣を取ることができる順番を決める方法に変更してもよい。

(例)



この方法に変更したところ、レイアウトが奇数でない限り、陣をとることができた数はず変わらず、記事の大きさを比べることで勝敗が決まることになる。じゃんけんの勝敗により、陣を取る数が目に見えて分かってしまうということが改善され、陣を取った数は変わらないので、大きさ（面積）をしっかりと比べることができるようになる。児童の実態により、ゲームの内容を変更することで、より、学習への意欲を高めることができる。